

埼玉県内設備投資動向調査

設備投資「計画有り」は7.7ポイント増加、設備投資意欲は持ち直している

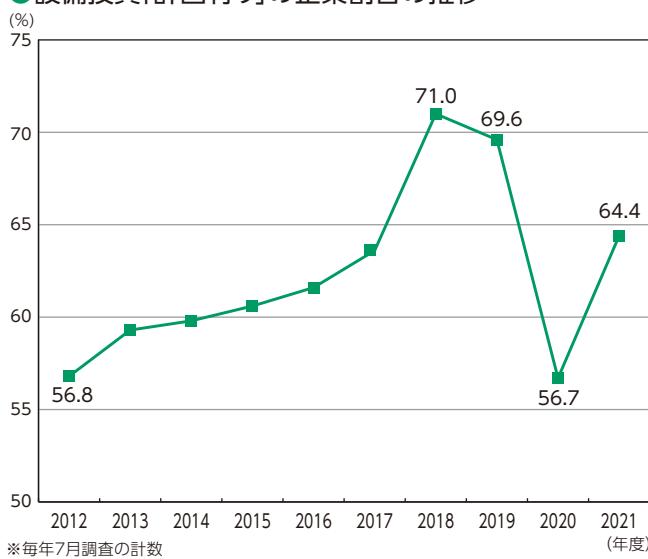
設備投資計画の有無

2021年度に設備投資の「計画有り」とした企業は、回答企業326社のうち210社、64.4%となった。新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減少となつた前年調査から7.7ポイント増加し、県内企業の設備投資意欲は持ち直している。

業種別にみると、「計画有り」とした企業は製造業が74.6%(前年比+10.8ポイント)、非製造業は58.0%(同+4.6ポイント)となった。製造業、非製造業ともに前年調査を上回る結果となつたが、特に製造業で投資意欲は強く、7割超の企業が設備投資「計画有り」としている。

規模別にみると、「計画有り」とした企業は大企業が77.3%(前年比▲0.5ポイント)、中小企業は63.5%(同+8.7ポイント)となり、前年調査に比べ大企業はほぼ変わらず、中小企業では増加となった。

●設備投資「計画有り」の企業割合の推移



設備投資計画額

2021年度の設備投資計画額は、当該企業の2020年度実績に対して+4.0%と増加した。設備投資の「計画有り」とする企業が前年を上回るなか、投資額

についても前年を上回る結果となった。

業種別にみると、製造業は前年比▲22.3%、非製造業は同+33.8%と、製造業で減少、非製造業は増加となった。

なお、製造業は2020年度に大型投資を行ったところがあった影響から、2021年度の前年比は大幅な減少となった。これを除くと製造業は前年比+19.5%となり、前年実績を上回る結果となる。

企業規模別にみると、大企業は前年比+45.8%、中小企業は同▲12.4%となった。

●設備投資計画額

(単位:社、百万円、%)

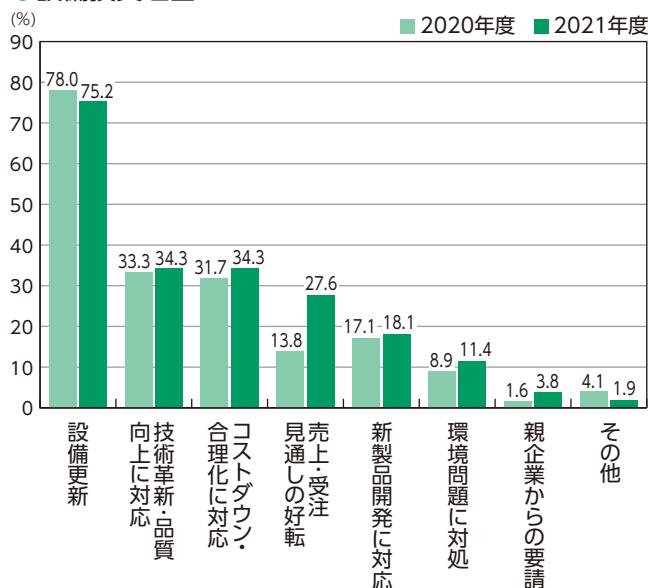
	回答企業数	2020年度 実績	2021年度 計画	前年度比
全産業	255	51,734	53,829	4.0
大企業	19	14,614	21,305	45.8
中小企業	236	37,120	32,524	▲ 12.4
製造業	102	27,459	21,348	▲ 22.3
非製造業	153	24,275	32,481	33.8

設備投資理由

2021年度に設備投資の「計画有り」とした企業のうち、その理由(複数回答)として最も多かったのは「設備更新」で75.2%(前年比▲2.8ポイント)、以下「技術革新・品質向上に対応」「コストダウン・合理化に対応」がいずれも34.3%(それぞれ同+1.0ポイント、同+2.6ポイント)、「売上・受注見通しの好転」27.6%(同+13.8ポイント)と続く。例年同様「設備更新」が7割超と、設備投資理由の多くを占めているが、今回の調査では「売上・受注見通しの好転」の増加が目立つた。新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ県内景気に、持ち直しの動きがみられることが影響しているとみられる。

直している

●設備投資理由

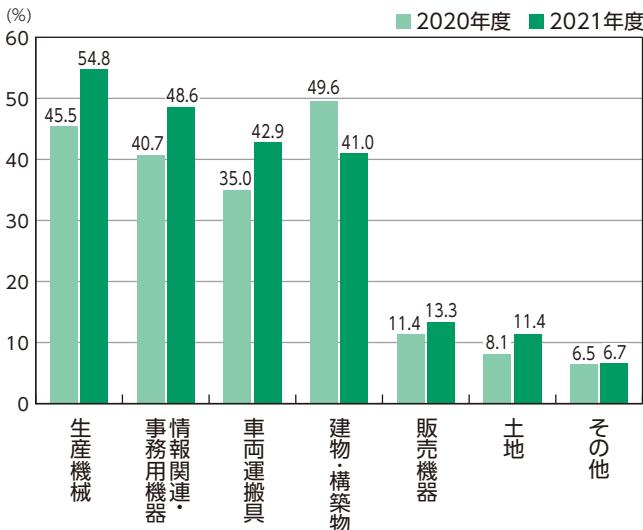


✓ 設備投資の対象物件

設備投資の対象物件(複数回答)は「生産機械」が54.8%(前年比+9.3ポイント)で最も多く、以下順に「情報関連・事務用機器」48.6%(同+7.9ポイント)、「車両運搬具」42.9%(同+7.9ポイント)、「建物・構築物」41.0%(同▲8.6ポイント)と続いた。

前年調査と比べ「生産機械」、「情報関連・事務用

●設備投資の対象物件



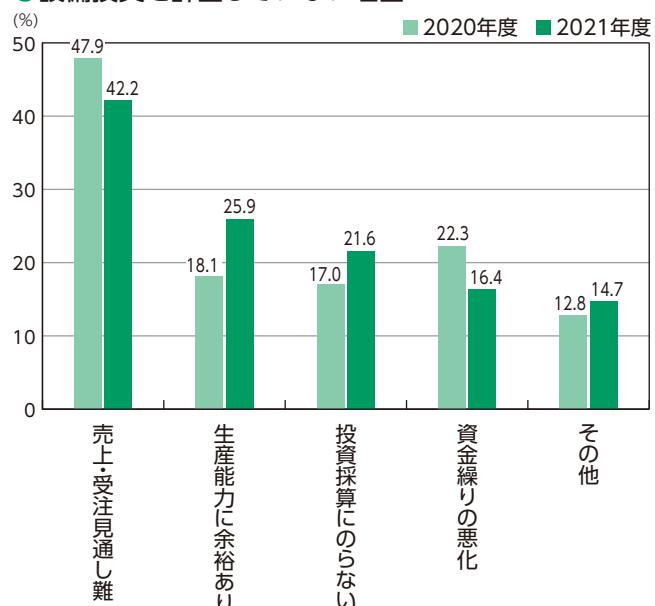
機器」、「車両運搬具」が増加している。生産が持ち直してきていることや、情報関連投資、合理化投資に積極的なところが増えていること、またコロナ禍における物流関連の需要が高まったことがこれらへの投資が増えた要因とみられる。

✓ 設備投資を計画していない理由

設備投資を「計画していない」企業において、その理由(複数回答)として最も多かったのは例年同様「売上・受注見通し難」で42.2%(前年比▲5.7ポイント)となり、以下「生産能力に余裕あり」25.9%(同+7.8ポイント)、「投資採算にのらない」21.6%(同+4.6ポイント)、「資金繰りの悪化」16.4%(同▲5.9ポイント)と続いた。

前年との比較では「売上・受注見通し難」、「資金繰りの悪化」が減少し、「生産能力に余裕あり」、「投資採算にのらない」が増えた。
(辻 和)

●設備投資を計画していない理由



2021年7月実施。対象企業数1,007社、回答企業数326社、回答率32.4%。